

平成30年2月28日(水)

看護師の特定行為研修シンポジウムin大阪

『地域包括ケアの中で活躍する特定行為研修修了者』

介護施設における

特定行為研修修了者の活動

社会福祉法人平成記念会

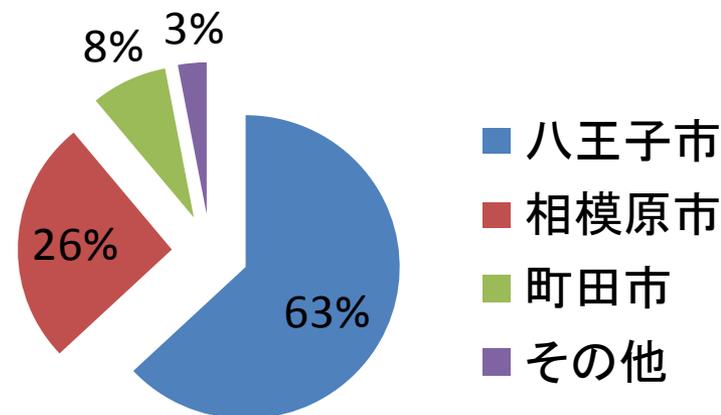
介護老人福祉施設 ヴィラ町田

看護主任 根本 千恵

# 地域の特徴・提携病院



## 受診・救急搬送先



東京都町田市(2018年1月現在)

人口:約430,000人

うち相原町15,000人

高齢化率:約26%

要介護(要支援)認定者率:約5%

提携病院に入院



予約入院が多い  
(当日受け入れてくれることもあり)

# 施設紹介



220床

介護老人福祉施設

看護師 19名

(うち常勤7名)

看護師24時間常駐

医療的ケアが必要な方の  
受け入れが多い

利用者様の体調の変化  
や急変も少なくない

平成 27 年4月1日介護保険法  
の改正で新たに介護老人福祉  
施設に入所できる方は  
原則要介護3以上の方に限定

高齢化や要介護度  
の重症化に伴い  
医療的ケアを必要な  
利用者様が増加

# 施設紹介

## 当施設における医師の滞在時間

	頻度	1回の回診の時間
内科医	週1回	約3時間
精神科医	月2回	約2時間

回診時以外  
(特定行為の研修修了まで)  
・脱水や感染症など体調変化時  
・不穏・不安など症状出現時

非常勤医師  
に連絡し、  
口頭指示  
を受け対応

# 看護師特定行為研修の受講動機

非常勤医師と連絡が円滑  
にいかないことも多い

対応の  
遅れ

利用者様の受診や  
救急搬送なることも

このような事態  
に対応するため

看護師  
特定行為  
研修を  
受講

診療の  
補助の  
質・量を  
向上

医師  
への  
相談が  
減る

手順書に基づき  
利用者様に  
スムーズ対応

常勤医師がいない  
環境で医師の判断  
を待つことなく診療  
の補助を行える

利用者様にとっても重要  
な役割を担えるのでは

# 日本慢性期医療協会 看護師特定行為研修の特徴

- 協会が編集した独自の「テキスト」
- 「就労継続支援型」のe-learningを活用した教材：上記テキスト内容に準拠
- 必修の5か月間の「自宅学習」
  - ⇒理解度チェックテスト(各科目10問)
- 演習事前学習：課題についてのレポート提出
- 計3回の筆記試験：東京研修センター
- 全10日間(5日間×2)の集合研修：東京研修センター
- 6か月間の自施設(原則)における臨床実習

# 日本慢性期医療協会看護師特定行為研修

平成28年

4月	5月	6月	7月	8月	9月
eラーニング共通科目 4月1日～6月4日		eラーニング区分別科目① 6月6日～7月23日		eラーニング区分別科目② 7月25日～9月10日	
4月2日 開講式		6月5日 筆記試験1	7月24日 筆記試験2	9月11日 筆記試験3	スクーリング 5日間×2＝ 10日間  スクーリング 演習・シミュレ- ター実習  (前半5日間)12日 ～16日 (後半5日間)24日 ～28日

平成29年

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
臨床実習(患者に対する実技)						修了式 修了証授与

# テキスト

## 共通科目編

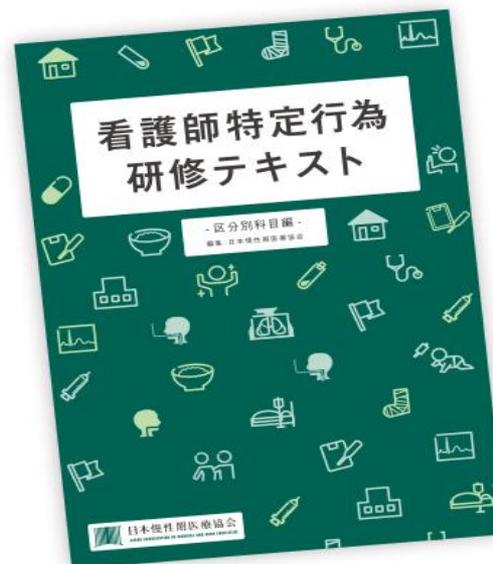


### Contents

1. 臨床病態生理学
2. 臨床推論
3. フィジカルアセスメント
4. 臨床薬理学
5. 疾病・臨床病態概論
6. 医療安全学
7. 特定行為実践

編者：日本慢性期医療協会  
定価：本体 5,800 円 + 税

## 区分別科目編



### Contents

1. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
2. 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
3. 創傷管理関連
4. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
5. 感染に係る薬剤投与関連
6. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
7. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

編者：日本慢性期医療協会  
定価：本体 7,900 円 + 税

# 日本慢性期医療協会看護師特定行為研修



人工呼吸器の操作  
久しぶり

あれっ？ 合ってる??

うん、うん なるほど！  
テキストやイーラーニング  
だけではわかりづらかつ  
たところが理解できた！



# 日本慢性期医療協会看護師特定行為研修



患者さんに苦痛がなく、安全に実施する！

できるかなあ(^\_^;)

受講生2名に対し、  
教官が3人！

緊張する～～(>\_<)



# 研修中に感じたこと

開講式後、主にe-learningによる自己学習・課題学習が中心

日々孤独との戦いで、e-learningや課題の進め方等、他受講者と相談できる環境ではなく不安  
課題がテキスト以外からかなり調べないとできないような内容で苦戦

筆記試験、翌日から5日間の集合研修

グループ学習中心で、仲間ができる→連絡でのやり取りができるようになる  
集合研修後の自己学習はお互いの状況を報告しながら行う→同じ目標をもつ仲間の存在は心強い

私が勤務して  
いる施設では  
医師が常駐し  
ていない

実習は勤務先での実習はできない

グループ  
内の病院  
で実習

実習の間は、施設に不在になることも多い  
看護師を中心として迷惑をかけてしまう  
研修修了に向けて施設長をはじめ快く実習に送り出してくれた

# 日本慢性期医療協会の看護師特定行為研修 修了後の特定行為の内容

特定行為区分	特定行為	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更	
特定行為区分	特定行為	
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	第4回より追加
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテル(PICC)の挿入	第5回より追加
	壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 補正	
感染に係る薬剤投与関連	薬剤の臨時的投与	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連		
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・抗けいれん剤の臨時的投与 ・抗精神病薬の臨時的投与 ・抗不安薬の臨時的投与	

7区分14行為から9区分16行為へ

# 修了式

平成29年4月15日



# 4月15日の特定行為研修の修了以降 実践内容・件数

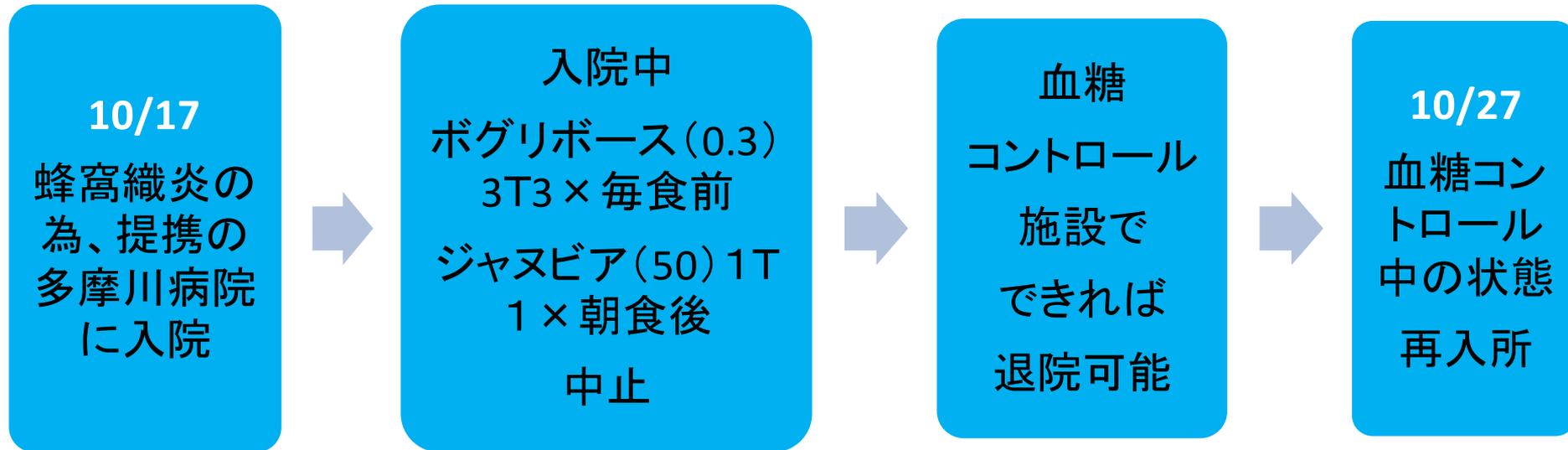
行為名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	行為別総数
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去						2	9	8	9	6	34
脱水症状に対する輸液による補正	7	14	6	4	11	8	1	5	26	42	124
感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与		5	14	8	15	12	10	13	14	17	108
インスリンの投与量の調整								3	2		5
抗けいれん剤の臨時の投与						1					1
抗精神病薬の臨時の投与	4	1	1	2	3	6	3	1	4	4	29
抗不安薬の臨時の投与				1							1
月合計	11	20	21	15	29	29	23	30	55	69	302

単位：件数

# 症例1

特定行為区分	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
特定行為	インスリンの投与量の調整
対象者	A氏 90歳代 女性
基礎疾患	糖尿病 認知症

## 特定行為実施までの流れ



インスリンの内容	ランタス	ノボラピッド
入院前	10-0-0	4-0-0
再入所時	10-0-0	4-4-0

# 症例1

## 手順書の病状の範囲

- ・バイタルサインが安定
- ・高血糖があるが、重度の高血糖と思われるような症状(意識障害、不穏、強い倦怠感)はない
- ・医師がインスリン調整に対し問題がないと判断
- ・家族が看護師によるインスリン調整に対し理解し、納得

## 特定行為実施内容

特定行為実施内容	10/10/0	4-4-4
多摩川病院退院時	10-0-0	4-4-4
11/16	10-0-0	4-4-4
11/22	10-0-0	6-4-4
11/29	10-0-0	6-4-6
12/6	10-0-0	6-6-6
12/13	12-0-0	6-6-6

ターゲット	11/15	2/5
朝食前	205	174
朝食後2時間	436	296
昼食前	341	196
夕食前	341	237
夜間	237	151
起床時	230	230

インスリンの調整  
施設で施行



入院期間の短縮に  
つながった

当院に常駐していない環境での調整あり、少量ずつインスリンを調整  
11月16日より退院後の血糖測定

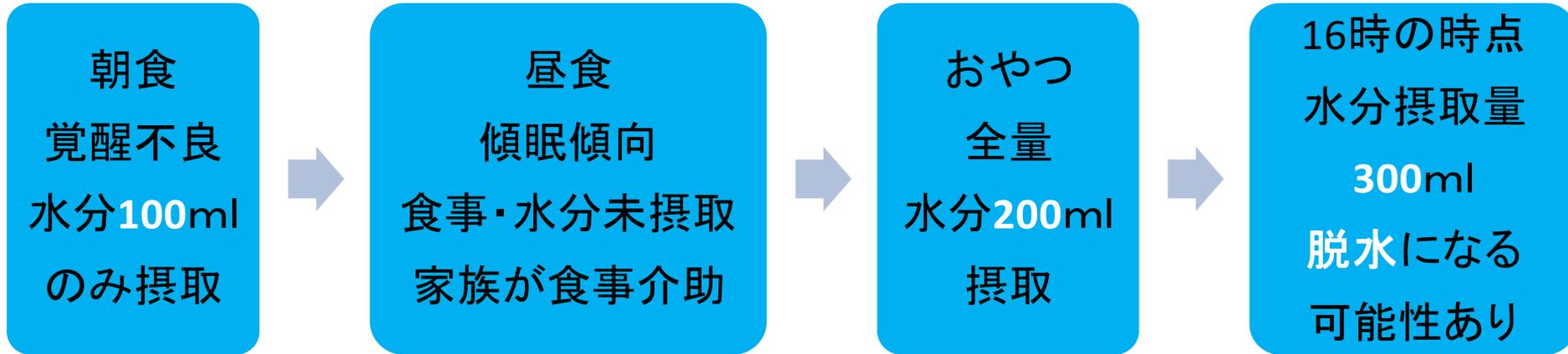
食後血糖が高値であるため、今後インスリン調整を徐々に行っていく必要ありと判断

1/22毎食前の血糖測定中止

# 症例2

特定行為区分	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
特定行為	脱水症状に対する輸液による補正
対象者	B氏 100歳代 女性
基礎疾患	認知症

## 特定行為実施までの流れ



## 普段の食事・水分 摂取状況

食事	半量～全量
水分	900～1000ml

## 直近の検査データ(11/15)

WBC	49*10 <sup>2</sup> /μl	BUN	13mg/dl	Na	137mmol/L
CRP定量	0.06mg/dl	CRE	0.72mg/dl	K	4.7mmol/L
ALB	3.6g/dl	ALT	9IU/L	Cl	103mmol/L
		AST	17IU/L		

# 症例2

## 手順書病状の範囲

- ・脱水に対する輸液治療を必要とする状態
- ・家族が看護師による輸液量調節に対し、理解、納得
- ・高熱等なく状態が安定

## 特定行為実施前の状態

意識レベル	特変なし
体温	36.9℃
脈拍	75
血圧	129/73mmHg

特定行為

早期回復  
外来受診せず過ごすことができた

検査

500ml  
施行と判断

留置  
点滴開始

夕食  
主食・副食共に2割  
水分100ml摂取

しっかり覚醒しているが、  
食事拒否強く吐き出しみられる

翌日以降

食事半量以上・水分

利用者様・家族の  
負担を軽減

翌日家族から状態の確認連絡があった

食事・水分摂取できていることを伝えると、「よかった」と安心された様子あり

# 特定行為研修を修了して

- アセスメントする力や必要な治療を理解し特定行為を実施する力がつき、**自信の獲得**
- 医師の指導内容により自らの看護実践を見直しつつ**標準化**することの大切さ
- 特定行為研修の修了後は研修内容を特定行為のみに行うものではなく、**日々の看護師の業務**の中で**特定行為も含めた医療や看護**を提供することに繋がっている

# 特定行為に対しての家族の反応

特定行為を実践する前

医師の手順書があるとはいえ、看護師が判断した特定行為の内容に家族が**否定的・拒否的**になるのではないかと**不安**



家族へ連絡し、利用者様の状況と、特定行為についての説明・実施したい内容を伝えると、家族は**快諾**



特定行為  
研修修了者

●●様は▲時ごろより、・・・(病状)の状態です。  
私は、医師の手順書を使用して、自分自身で◆◆(薬・点滴)を判断することができます。  
ご家族様の承諾が得られましたら開始したいのですが宜しいでしょうか？

そうなんですね。  
ぜひお願いします。



キーパーソン

# 特定行為に対しての家族の課題

生活や社会的背景を考慮した  
治療・看護の提案や実施

利用者様・家族の負担を  
軽減し、それに貢献する

## 現在

特定行為実施の際に利用者  
様の家族へ利用者様の状況、  
特定行為研修制度の説明、  
実施したい内容を伝えている

面会に来ている時であれば  
直接説明しているが、大半は  
電話で説明し承諾を得ている

## 今後

全利用者様の家族

特定行為研修制度  
についての理解を  
深めてもらうために  
3月の広報誌に紹  
介してもらう予定

# 介護老人福祉施設の課題

介護職員を中心とした  
多職種と連携・協働

限られた人員配置  
の看護職員

質の高いケアの  
提供に貢献する  
ことが求められる

施設での  
特定行為研修を  
修了した看護師

どんな存在であ  
るべきか??

医師が常駐していない為、利用者様の  
身体・精神状態や生活機能をアセスメント

利用者様・家族の願いや希望

施設生活の  
生活機能の維持

介護度の重度化、病気が  
悪化しないようなケア

他職種に  
アンケートを  
実施  
施設での  
役割を理解  
する

チームで取り組むことを推進する力が必要

# 介護老人福祉施設の課題

医師の  
回診

看護師が  
的確な報告

利用者様に合った  
指示をもらう

特定行為研修修了者の存在

利用者様の状態に合わせた  
タイムリーな対応が可能

きめ細かい利用者様の  
病状の把握・管理



早期  
回復

重症化予  
防

外来受診や  
救急搬送の  
減少

施設生活の継続

# 課題・展望

2月18日	胃瘻	23名
現在	インスリン注射	2名
利用者様	在宅酸素	2名

医療的ケアを  
必要としている  
利用者様が多い

「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」  
「膀胱ろうカテーテルの交換」

日本慢性期  
医療協会  
で追加研修  
できれば

施設看護師としての  
専門性・  
特徴を發揮し、  
ニーズに  
応えられる

利用者様の病状  
の範囲の確認  
↓  
手順書内で  
あるかを判断

範囲内

特定行為の実施

範囲外

医師に連絡し、口頭  
指示をもらい対応  
場合によって、受診  
や救急搬送

利用者様の  
安心・安全を  
最優先に考  
え特定行為  
を実践して  
いきたい

# おわりに

現在、勤務先に特定行為研修を  
修了している看護師は1人である



特定行為の手順書の範囲内であっても  
特定行為研修修了者がいないときは、従来通り  
医師に連絡し、口頭指示をもらい対応



勤務している施設のみならず、今後はできるだけ  
在宅や施設看護師が**意欲的**に特定行為  
の研修を受け、**修了者数が増加**



特定行為研修を修了している看護師が施設や訪問看護  
ステーションに**なるべく勤務しているような体制づくり**

ご清聴ありがとうございました